

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第43週（10/23～10/29）【COVID-19 情報】

令和5(2023)年11月2日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は2.10で、減少傾向が見られます。全年代で減少傾向または横ばいとなっています。全保健所圏域で減少傾向または横ばいとなっています。

2. COVID-19の定点当たり報告数（全国は前週）の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。（COVID-19の例：1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33）

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別							全国 (前週)
		2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
COVID-19 (定点数:60※)	COVID-19	3.78	2.85	2.10	3.62	1.00	1.14	1.90	3.00	1.71	2.00	3.25
基幹 (定点数:7)	COVID-19入院	3.00	2.14	1.71	6.00	0	1.00	2.00	2.00	0	1.00	2.37

※第41週（2週前）のCOVID-19 定点数は、滋賀県59医療機関となっています。

3. COVID-19の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

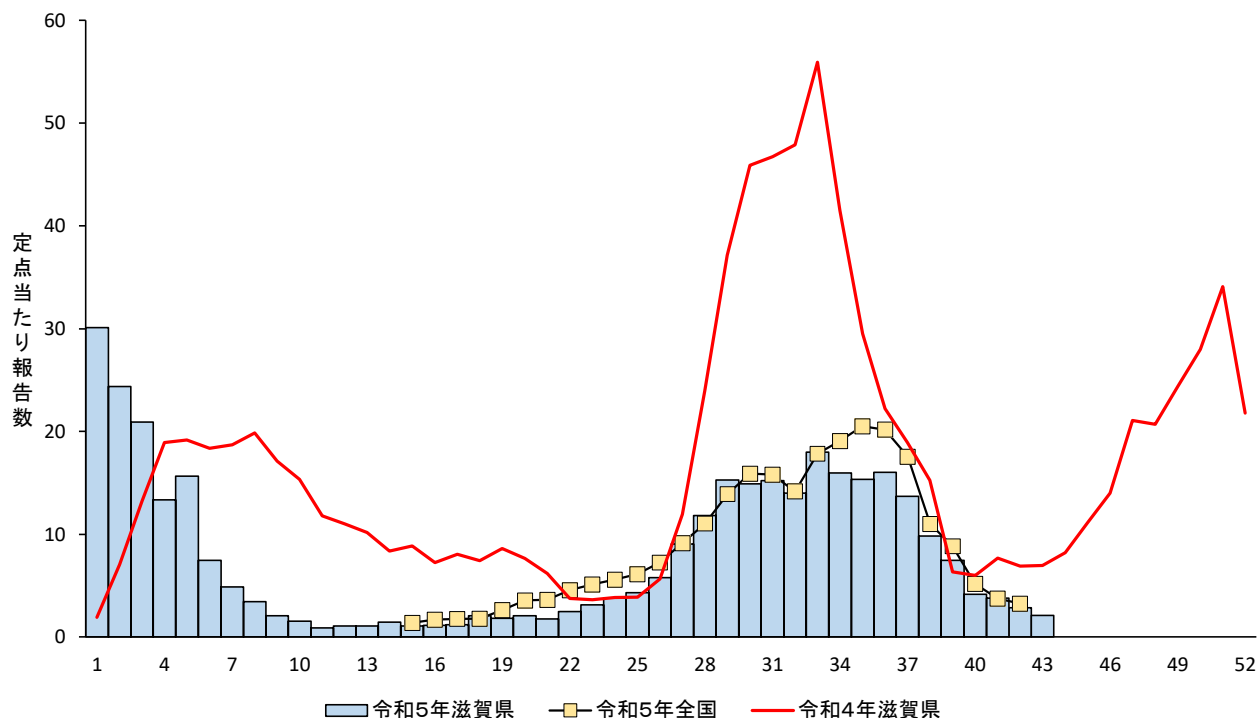
「-」:報告なし

COVID-19定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
COVID-19 (60医療機関)	126	2	1	-	3	6	-	1	3	3	-	-	7	3	10	15	14	8	16	12	22
大津市保健所 (13医療機関)	47	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	2	2	6	5	2	7	8	12
草津保健所 (13医療機関)	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	4	1	1	-	1
甲賀保健所 (7医療機関)	8	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1
東近江保健所 (10医療機関)	19	1	-	-	2	-	-	1	1	1	-	-	1	1	2	2	4	1	1	-	1
彦根保健所 (7医療機関)	21	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	3	-	2	4	2	6
長浜保健所 (7医療機関)	12	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	2	-	1
高島保健所 (3医療機関)	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	1	1	-
COVID-19入院 (7医療機関)	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	6

【COVID-19 入院について】

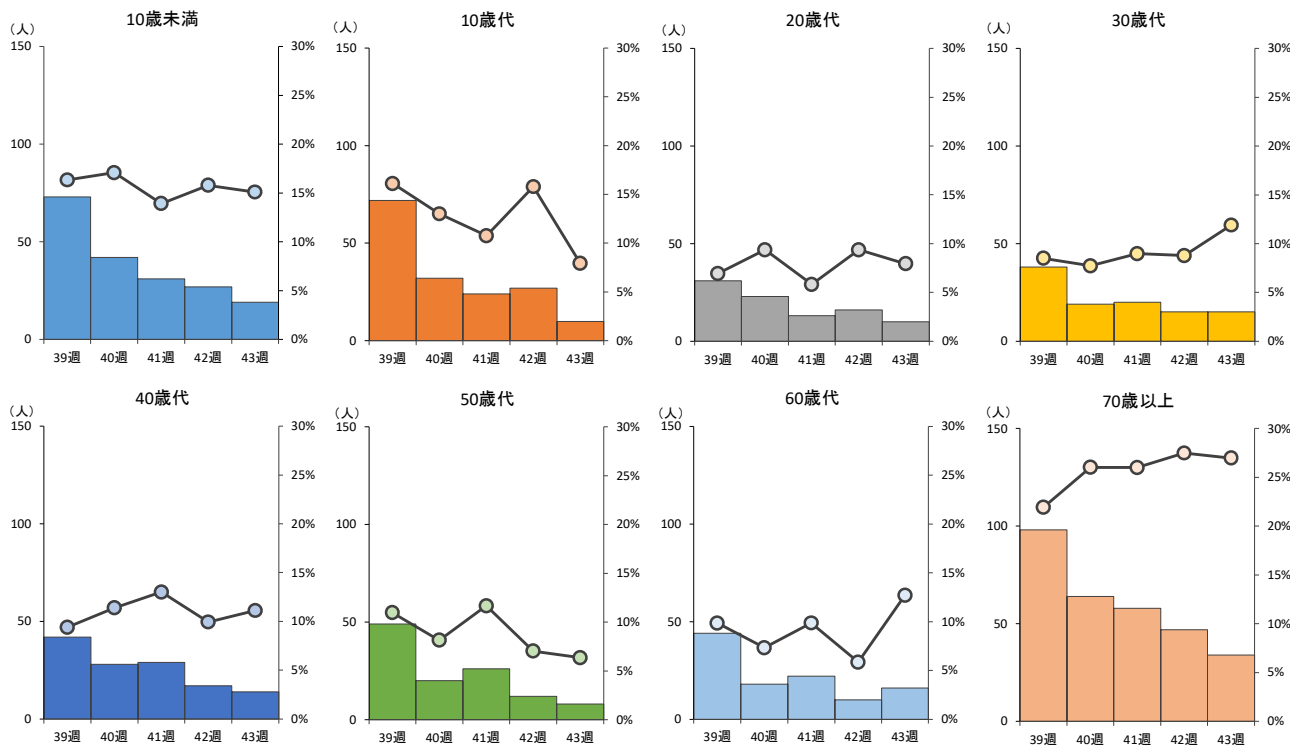
第39週（9/25～10/1）よりCOVID-19の入院サーベイランスが開始となりました。入院サーベイランスは、基幹定点医療機関（7医療機関）からCOVID-19と診断され入院となった患者数を1週間（月～日曜日）ごとに報告いただき、COVID-19による入院患者の発生動向や重症化の傾向を把握することを目的としたものです。

4. 滋賀県と全国の COVID-19 の発生動向 (全国は前週まで掲載)

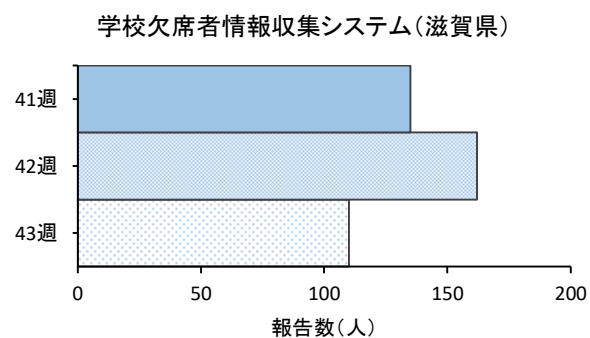
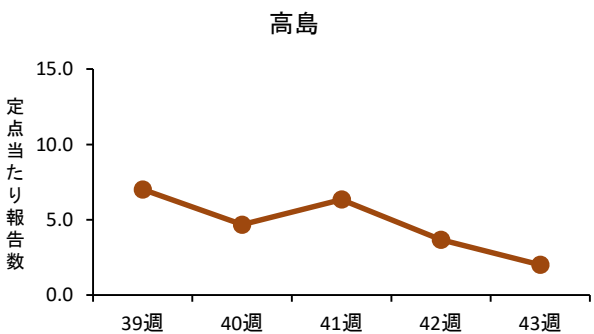
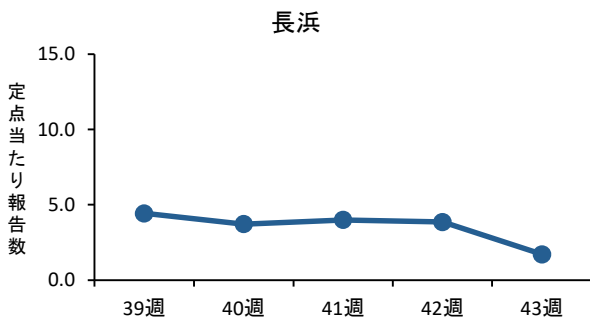
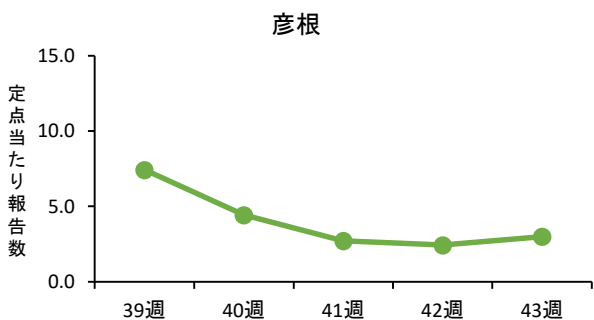
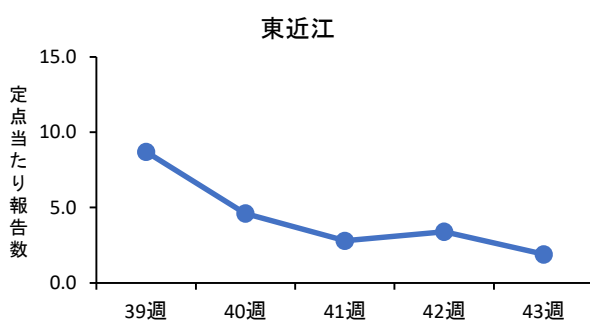
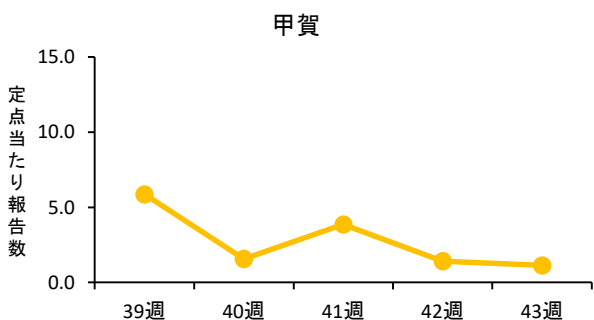
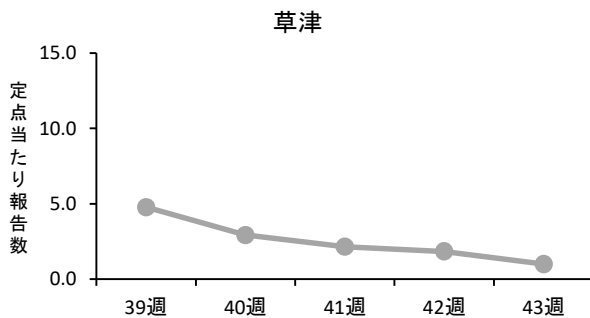
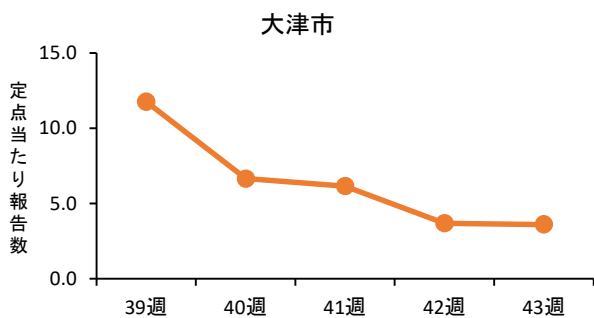
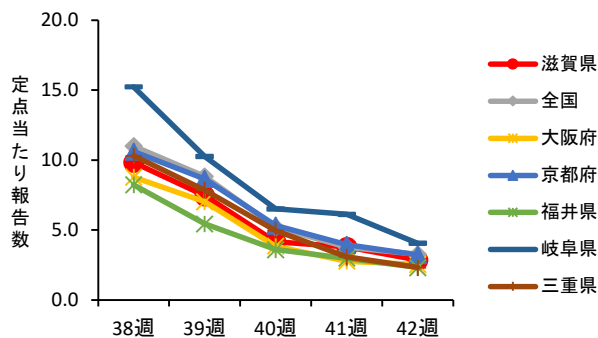
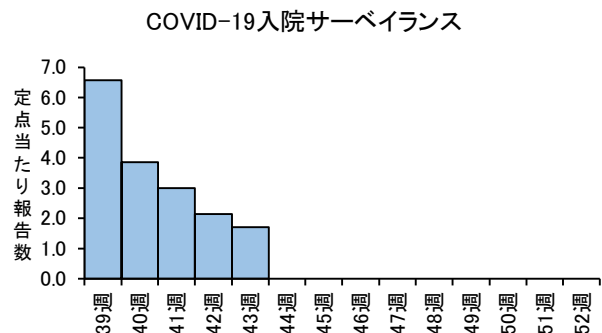


5. COVID-19 の年齢階級別推移 (滋賀県)

棒グラフ (左軸): 報告数 (人) 折れ線グラフ (右軸): 全年齢に占める割合 (%)



6. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



1) 県内の入院状況

入院者数	うち重症者数
52	0

10/31更新データを掲載しています。
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、通常の医療提供体制へ段階的に移行していきます。
 重症：ICU入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

2) クラスターの発生状況について

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
0	1	0

10/23～10/29に県で確認したクラスターを掲載しています。
 保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターとして報告しています。

3) 検査数

検査数	5,372件
-----	--------

10/23～10/29に県で確認した検査数を掲載しています。

4) 県内の外来対応医療機関のひっ迫状況について

県内の状況	11.2%
-------	-------

10/23～10/29までに「ひっ迫している」と報告した医療機関の割合を算出しています。
 ※医療機関等情報支援システム(G-MIS)により集計

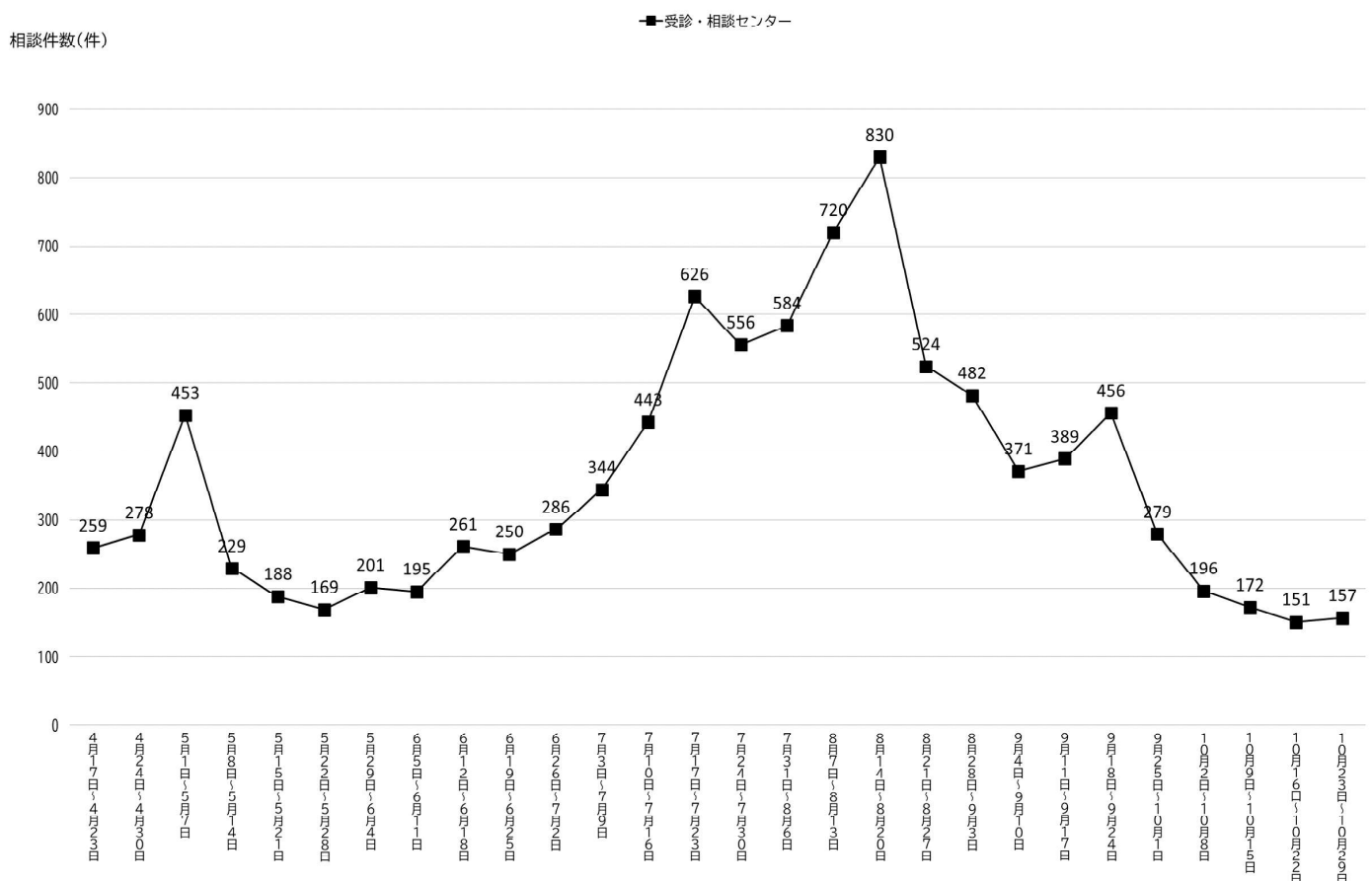
5) 救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

10/23～10/29における大津市消防局からの報告数を掲載しています。

相談体制について

相談件数(週計)



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課
10月29日時点

- 世界的にはEG.5系統が33.6%、XBB.1.16系統が18.9%、XBB.1.9.2系統が11.2%を占めている。(WHO COVID-19 Epidemiological Update Edition 159 published 29 September 2023)
- 全国的にはEG.5系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年6月に検出された。
- 滋賀県では、令和5年9月時点ではXBB系統が全体の81.2% (うちEG.5系統は36.8%、XBB.1.5系統は12.0%、XBB.1.16系統は8.5%、その他XBB系統は23.9%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- 現在の主流株のXBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統は、以前の主流株のXBB.1.5系統よりも広がりやすく免疫を逃れる性質が強いが、重症度はXBB.1.5系統と比べて明確な違いはないと示された。(令和5年9月12日東京大学医科学研究所,WHO EG.5 Updated Risk Evaluation,21 September 2023)
- 30か所を超えるスパイク変異を持つため監視中の変異株として指定されているBA.2.86系統については、これまでの変異株の中でも最も中和されにくい変異株であることが明らかになっており、今後の動向にも注意が必要である。(令和5年9月19日東京大学医科学研究所)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

